

第 15 回千早赤阪村庁舎建設検討委員会会議録（要旨）

日 時	平成 30 年 12 月 4 日（火） 午後 3 時 30 分～午後 5 時 30 分
場 所	保健センター 3 階 集団指導室
出席者	磯崎委員長、城戸委員、久保委員、阪辻委員、柴田委員、関口委員、 豊田委員、西野委員、伏井委員、柳川委員、山形委員
欠席者	仲野副委員長、楠本委員、服部委員、矢倉委員
事務局	清水副村長 総務課：中野課長 人事財政課：菊井課長 人事財政課地域戦略室：上島理事（兼室長）、幸課長、井上課長代理、 下野主査、瓦谷主査 ※基本設計担当 楸徳岡設計（3 名）
傍聴者	0 名
会議概要	開会 1. 議事 （1）新庁舎建設事業の進捗状況について （2）基本設計（案）について （3）その他 閉会

【議事要旨】

1. 議事

- （1）新庁舎建設事業の進捗状況について
- （2）基本設計（案）について

※事務局より（1）新庁舎建設事業の進捗状況と（2）基本設計（案）3 案の資料説明及び評価の説明を行い、委員から次の通り意見等がありました。

（城戸委員）

防災に重きを置いた配置、評価となっているが、平常時の住民の利便性はどうか。2 階に建設、総務があった方が住民の動線は良いのでは。災害時と平常時、どちらが長い。防災時住民は来ないのでは。1 案と 2 案の差は職員が階が変わるだけではないか。

（事務局：幸課長）

どの案も住民の利用頻度の多い課を 1 階に集約している。総務課、施設整備課は主に業者対応が多い。上階へはエレベーターも設置している。住民機能を考え、大きな差はないという事務局の判断である。昨今、台風も多いので防災面を意識している。

(磯崎委員長)

今年、台風もあったからのことと思うが、1年通じてはどうか。総務課と施設整備課が近くにあれば良いのではないか。一般住民も総務課や施設整備課に行くこともあるだろう。

(事務局：上島理事)

一般住民の利用もゼロではない。昨年の台風災害時は、別館にあった施設整備課と、本館2階の防災を担当している総務課との間で情報が錯そうした。その反省を踏まえ、情報共有を円滑にして全職員が参集し情報共有できるようにという1案の配置である。災害があったときの機能としては重要であるとする。

(城戸委員)

危機管理室と表現を使っているが、これはあくまでも防災対策本部ということか。また別のものか。危機管理室というと村全体の危機管理を日常から図っているとも取れる。

(事務局：井上代理)

同じものです。表現の仕方ですね。

(城戸委員)

1案、2案では1階の相談コーナーは憩のスペースから出入りするようになっているが、相談者のプライバシーが守れないのではないか。住民課の方か、廊下から直接入る方が相談しやすいのではないか。実施設計にあたっては壁の位置を考えてほしい。

(清水副村長)

執務室内にはマイナンバーなどの個人情報がある。職員以外が立ち入るのは、危機管理上好ましくないと考える。プライバシー保護を考えると最も奥の観光・産業振興課の右隣など位置は再検討する。

(磯崎委員長)

細かい内容が出たが、大きく2階建てでするのか3階建てでするのかを、決めねばならない。その後、委員会、専門家を交え細かいところを検討、修正していけば良い。

災害はいつ起こるかわからない。当初の計画であれば、新庁舎はすでに稼働している時期である。安全性の面で現庁舎は限界である。一刻も早く新庁舎に建て替えねばならない。

3案であれば工期はどのくらいのびるか。

(事務局：下野)

半年以上伸びると想定している。

(磯崎委員長)

費用、工期から鑑み、3階建てで押し進めてはどうか。

(柴田委員)

議会スペースが広いのではないかと。3階部分を議場、議員控室、正副議長室で占めてしまうのは基本理念に照らしてもどうか。年間どのくらい使うか。

新庁舎に議会は絶対に入らねばならないか。現在仮移転している保健センターではだめなのか。議会を軽視するものではないが、村民の為、働く職員の為の庁舎ではないのか。

(磯崎委員長)

議場は会議室兼用か。

(清水副村長)

会議室としても利用するが議場の一般開放は考えていない。議会代表の意見はどうか。

(関口委員)

他市町村と比較しても、広くはない。

現在も議場は村議会だけでなく審議会、選挙管理委員会でも使用している。控室での住民対応、他市町村からの来訪もある。多目的利用としている他の議会を見学したが、議会の都度、設定を変更するのは負担がある。現在のセットされた議場を無駄であるとは思わない。

(柴田委員)

保健センター、くすのきホールなど他の施設を利用することはできないか。

(関口委員)

保健センターは保健センターの事業で会議室を使う。仮移転している現在は保健センターにも不自由をかけているのではないかと。

議員職員間で連絡の必要もある。他の議員にもいただいたご意見は伝えたい。

(山形委員)

議員7名は多目的での利用も可との意見である。議会は確定した議場を新庁舎に、という要求はしていない。14日の議会の特別委員会にて全議員7名で検討し報告したい。

職員に負担をかけず、コンパクトで使い易い議会という方向で議員7名は動いている。

(柴田委員)

教育委員会、社会福祉協議会が外にあること、議会が外にあることについて皆さんの意見

はどうか。

(伏井委員)

議会としては、この形でなくて良いという意見か。

(山形委員)

皆さんの意見を頂戴したということで、外でも良いとかの議論はしていない。

(磯崎委員長)

議会開催時、議場に入る人数はどのくらいか。

(清水副村長)

議会開催時は、職員・議員・議会事務局で合わせて30人くらい入る。傍聴者も入る。また災害時には危機管理室として使う。

(城戸委員)

教育委員会をもってきたとして、入るのか。

(清水副村長)

キャパシティー的には入るが、教育委員会はくすのきホールの管理もしている。新庁舎にもってくると、ホール管理費用が新たに発生するため、ホールに残すという判断をしている。

(磯崎委員長)

他にありませんか。

(久保先生)

構造的には大スパンで、柱が中に入らない、自由に要望により可変的な使い方ができる工夫されたプランである。

全体的に狭く、狭い中に色々な部屋の名前が入っている。議会は壁で固定されているが、使い方に工夫をすれば、ネーミングにこだわらなくてもよいと思う。

1階の使い方を練らねばならない。出入口でしぼり、中廊下で各課配列して外部にたいしてバリアを張っている。時代性から新しい庁舎とは言えない。

今回の計画エリアではない南側を含め、外と中と自由なアクセスのできる、村民のために明るく活気のある、気軽に来ただけのような開かれたものに。

2, 3階は機能的にいっぱいなので、1階だけでもオープンで柔らかい感じになれば。

この庁舎が防災、危機管理の対策本部としてとして機能できるか。設備はしっかりしているか。例えば非常用発電は72時間稼働するのか。

(事務局：幸課長)

7 2 時間対応で検討している。

(久保委員)

であれば立派。むしろ、そのような設備面を今後チェックしていくのが良いだろう。

(柴田委員)

太陽光発電のパネルがあるが蓄電設備はあるか。

(事務局：幸課長)

蓄電設備があれば晴天でなくても使用できるが、コスト面から慎重に検討をしたい。

(久保委員)

先ごろ完成した某市コミュニティーセンターでは、防災拠点でもあるが能力が確保できずやめている。もっと住民サービスの向上に予算を回すのが行政として良いのではないか。

(事務局：幸課長)

費用対効果や補助金の制度も鑑みながら今後詳細に検討していきたい。

(柴田委員)

受付の前に丸い椅子のようなものがあるが、たとえば住民課に手続きに来た場合、どこで待つのか。待つ人のためのスペースはないのか。

(事務局：下野)

椅子などの配置は今後、各課と協議しながら実施設計の中で決めていく。

(柳川委員)

長大スパンを取っていてフレキシビリティなプランは良いが、集密書架を置くなら柱をとったほうが無難だろう。構造計算は可能だが。

(伏井委員)

住民票の発行など、将来的にはどうなるのか。自動発行機などになるのか。

(事務局：幸課長)

具体的に決まっていない。転用可能なようにスペースは玄関近くに割いている。

(西野委員)

建物の左右に階段があり面積をとっている。建物の中央に階段を配し、非常用には外階段にはできないか。

(柳川先生)

両端が原則である。2方向避難が最も安全とされている。

(磯崎委員長)

詰めていくと、いろいろ出てくる。防火扉とか消防法をどうクリアしていくか。村民ばかりでなく、使う側の職員の意見もあるだろう。

(久保委員)

3つの案が出ているが、3案は工期的にも転がし計画的にも厳しいということで、1案と2案の3階建てで意見集約してはどうか。

(磯崎委員長)

1案、2案に絞って3階建てでいくということで。詳細については今後。

重要なのは予算の面。太陽光を外した場合、文化財発掘の費用、ボーリングの結果を受けての構造検討。支持層はかなり浅いと聞いたが。

(事務局：下野)

支持層はの深さは3～4mです。

(磯崎委員長)

財政の非常に厳しい中で、できる限り安価に安全に機能性のある庁舎にしたい。設計の方にも工夫していただきたい。

(阪辻委員)

我々としては明るい広々したところで手続きしたい。

(柴田委員)

設計決定の目途はいつ頃か。

(事務局：幸課長)

基本設計は年度内の3月までに確定し、実施設計はそれ以降である。

今後、議会の特別委員会もあるので、大きく3階建て、1案2案ベースで大枠を固める。

(柴田委員)

3月で決定ということならば、もうこの会議はしないで決定するのか。

(清水副委員長)

それまでにもう一度やります。

(事務局：井上代理)

いただいたご意見を参考に整理・修正し、議題をお示しして、改めて日程等ご連絡する。

(磯崎委員長)

では、今回の意見を反映して検討委員会を開催し皆さんの意見を聞きたい。設計も大変だろうが、ご協力お願いしたい。

(清水副村長)

住民のための庁舎、という視点がまだ欠けているというのが、今日の皆様の共通した意見だったと感じている。個別には活気のある庁舎、もう少し1階部分は広々した方が良く、議場の扱い、住民が入る外部スペースと多々ご議論いただいた。

前回から6か月ぶりの開催となってしまったのは、設計に時間を要した上、庁内で議論し、議長、議会特別委員長に事前説明し、お示しできるタイミングが取れなかったからであるが、今後は適切な時期に考え方をお示しできるようにしたい。

実施設計に入ると後戻りはできないので、基本設計の段階でご意見をいただくのはありがたい。

12月14日に議会の庁舎特別委員会を開催される。今日いただいた意見は伝える。

年内か年明けには、磯崎委員長と相談し、フィードバックさせていただく。

住民の皆さんには、コンパクトで使い勝手の良い、お金のかからない庁舎、目安として10億円以内ということをお示ししている。一方で万博、オリンピックで建設単価は上がるだろうが、言い訳とせず、効率的な庁舎ということを考えていきたい。

本日はありがとうございました。

(3) その他

特になし

閉会